



右／カウンターテーブルの壁と梁のグレーの塗装はお気に入りのカフェを参考にして決めた。節のある無垢の床材ともなじみがいい
左／ダイニング側の一面には有孔ボードの板壁を設置。お子さんの学校のプリント類をクリップボードにはさんで吊るすのに最適

右／本好きのご主人の希望でリビングの漆喰壁三面に棚柱を設置。本棚には、お子さんの絵本や雑貨も飾り、家族で共有している
左／ダイニングスペースは動線を優先してキッチン横に配置した。古材を活かしたテーブルは栃木県の「仁平古家具店」のオーダーメイド品

HOME CAFÉ
IDEA

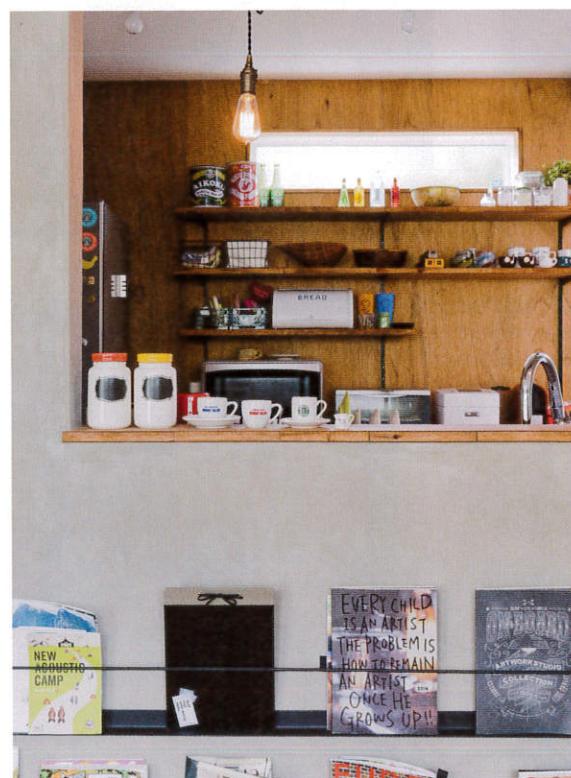
ノスタルジックに空間を彩るレトロなパーツ類

右／LDK内の照明は納得いくまで探し、吊り下げる数にもこだわって設置したため、ライトアップした夜の時間帯も夫婦のお気に入り 左／キッチン脇に取りつけたトグルスイッチは、モルタル風の壁材との相性が抜群



カフェで過ごすようにくつろげる窓際カウンター

「家事を終えて一息つくと、たいていここに座ります」というほど、カウンターは奥さまのお気に入りの場所。窓外の植栽を眺めながらコーヒーを飲んだり、本を読んだり。お子さんの勉強を見るのもこの場所



キッチン背面のオープン棚に、食器や雑貨を見せながら収納。手前のマガジンラックとともにカフェ風にコーディネートしている



MY HOME CAFÉ
— 5 —

お気に入りのカフェをヒントに
ノスタルジックで
やさしい時間が流れる家に

茨城県・Eさん ● 設計・施工／エフリッジホーム

手前に突き出たようなユニークな間取りのリビング。間に壁を設ければ将来個室として使うこともできるようにと設計している



床はグレー、洗面台にはネイビーと、落ち着いた色のタイルを貼った洗面スペース。シンク下もカゴを使ってオープン収納をしている



明るくすっきりデザインされたトイレもグレーのタイルがポイント。ストック用のトイレットペーパーは足元に設けたニッチに収納

長年暮らしてきたような居心地のよさを感じられる

家づくりの際、まずイメージとして伝えたのは、栃木県那須町にある憧れのカフェが醸し出す雰囲気。古材使いや、梁や壁にも多く用いたグレーの色使いが特徴のノスタルジックな空間です。LDKは、カギカッコを2つつなげたような変則的な間取り。これは、将来リビング部分を仕切って個室として使うことも想定した設計です。

「LDKだけど丸見えにはならないので、家族が思い思いの場所で過ごせるのがいいですね」とご主人。古家具店でオーダーしたダイニングテーブルやカウンター用の椅子、飾りながら収納するリビングやキッチンのオープン棚、黒いアイアンのマガジンラックなども、カフェを意識したご夫婦の意向が反映されています。

中央窓際にある造作カウンターは、もつともこだわったスペース。大きく窓を設け、ホッと一息つけるカフェスタイルとして、またお子さんの勉強机としても活用しています。漆喰壁の補修など家のメンテナンスも今から楽しみというDIY好きのご主人を中心に、家族も家も育てる楽しみに満ちています。

タイルやパーツにこだわった開放的でレトロ感のある空間



合板にアイアンの取っ手がおしゃれな造作キッチンの扉、グレーの目地で仕上げた白いタイルや小型のレンジフードで雰囲気のあるキッチン

棚に飾る食器や雑貨は、直感で選ぶことが多いという奥さまのセレクト。棚上の横長窓から光が入るために、キッチンはいつも明るい



「ようこそ」と招かれているような開放的なエントランスの仕掛け

リビングにつながる扉や壁にはガラスを多く用いて、家全体のつながりや開放感を感じさせながらインテリアのポイントに。玄関には出し入れしやすいように扉はつけず、靴や外着を収納できるオープン棚を作成



家の表情を豊かにするクラシカルなパーツ使い

- 1.LDK入口のシンプルなデザインのドアレバーハンドルと同じ高さに並べたトグルスイッチ
- 2.トイレの手洗い部分には、経年変色が楽しめるアンティーク調の水栓と小ぶりな洗面ボウルを選んだ
- 3.ざらっとした材質が魅力の板扉にチェックガラスをはめ込んだ懐かしさを感じさせるトイレの扉

DATA

家族構成／ご主人、奥さま、長女、長男

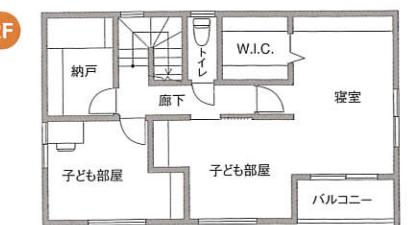
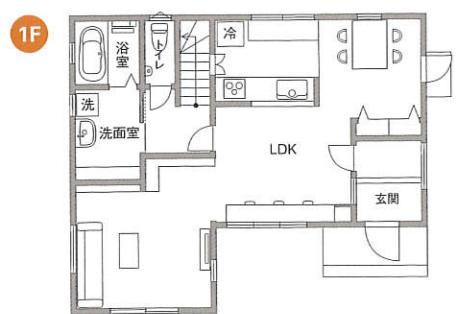
敷地面積／213.22m²(64.49坪)

建築面積／57.96m²(17.53坪)

床面積／1F 57.96m²(17.53坪)

2F 46.41m²(14.03坪)

合計 104.37m²(31.57坪)



上／玄関扉は、ユーズド感のある木目調をセレクト。ハンドルと色を揃えた表札は、スレートに文字を貼りつけて作ったご主人の手作り 下／白い外壁が美しいE邸は黒枠の窓がアクセント。シンボルツリーのかツラノキと小さな丘のように仕上げた縁が青空に映える。外構はつくば市の「sora-niwa+」が担当した